

令和3年度 経営協議会学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組

本学では、経営協議会において法定審議事項とは別に討議事項を設け、経営者等外部委員の幅広い経験・視点からの助言をいただき、大学運営の改善等に役立てている。

令和3年度においても以下のとおり様々な助言等をいただき、改善に役立てている。

令和3年度第6回経営協議会（令和4年3月24日（木）開催）

Ⅲ 討議事項

1 新たな教育組織の設置に向けて

※令和3年度第6回経営協議会議事要録参照

【大学運営の改善等に関する意見】

- ① 地域の知の拠点としてコーオプ教育を確実に実行していくことは、地域を活性させるための役割を果たすことに繋がるため是非進めていただきたい。
- ② 茨城県でもアントレプレナーシップをキーワードに人材育成を進めているところであり、同じ方向を向く取組だと思ふ。今後、地域活性化を進めていくために、地方大学の存在は極めて重要である。地域を引っ張っていけるような人材育成を進めていただきたい。
- ③ 地方大学にとって、地域と密接につながることでできるプログラムは重要である。このような地域の課題と国際的な課題は一体不可分であると考える。日本で暮らす外国籍の方も増加しており、海外との往来だけでなく地域の中にある国際的な側面についても目を向けていただきたい。

【本学の対応】

- ① 「新たな教育組織（社会システム共創学環（仮称））」の特徴の一つであるコーオプ教育は、企業や自治体等と連携して、授業で学んだ知識・技術を、それに関連した学外での学修や実際に働きながら実地に応用することにより、理論と実践を往還させ、高い実践力を養成するものです。このコーオプ教育により、地域への理解促進、地域活性化への効果も期待されることから、より高い教育効果が得られるよう、引き続き教育内容を検討していきます。
- ② 「新たな教育組織（社会システム共創学環（仮称））」は、「社会的起業家精神をもって、分野横断的な学びから新たな価値を創出し、地域に貢献できる実践的人材」を育てるこ

とを目的としています。このような教育目的を実現するため、自治体や地域企業と連携し、ご意見等をいただきながら、引き続き教育内容を検討していきます。

- ③ 地域課題のなかには国際的な課題と密接に結びついているものもあります。「新たな教育組織（社会システム共創学環（仮称））」では、地域課題を通じて国際的な課題にも目を向けるグローバルな教育にも力を入れていきます。